

テレワーク・セミナーin大阪

テレワーク導入企業の体験談1

就業者目線から始まった 私のテレワーク推進支援

2020年10月21日



特定非営利活動法人チルドリン徳島

理事、テレワークアドバイザー兼コーディネーター 角 香里

活動を通じて、子育て期の孤立を防ぎ、子育て中も積極的に社会活動に参画していく意欲を醸成

NPO法人チルドリン徳島 団体概要

活動理念

ライフスタイルの変化や地域コミュニティの希薄化した現代社会において、孤立化した子育てにより、母親の負担は増大しています。育児放棄や虐待につながるケースも少ない現状に対して、様々な支援策が行われる過程で、母親たちは常に支援される側に置かれています。私たちの活動においては、支援される側・支援する側という二極化された支援体制でなく、母親らがお互いを認め合い、自発的に支援・認証するコミュニティを形成することで、母親たちが自己実現を図り、子育て中も積極的に社会活動に参画していく意欲を醸成していきます。子育て時期にもっと「楽しみ、学び、納得し、安心したい」という母親の想いを実現するために、『ママのコミュニケーション&ママとのコミュニケーション』をモノ・コト・社会と協働して母親たちの自己実現を支援をのこなっている全国的な組織「NPO法人チルドリン」の徳島ランチとして全国と徳島をつなぎ、徳島での地域性を取り込んだ活動を展開、徳島の母親たちの活動や想いを全国に向けても発信していきます。子育てにおいて、子どもの成長と共に必要とする情報や所属するコミュニティが変わっていきます。2014年より、法人化いたしました。活動の連続性を保ち、地域の子育て環境の改善に貢献していけるものと考えています。

▼活動内容

イベント企画

コミュニティ形成

テレワーク推進支援

雇用創出

▼活動実績

テレワーク推進事業、ママイベント企画実施、コミュニティスペース企画運用、マーケティング戦略の企画立案(コンセプトワーク、ブランディング)、各種クリエイティブワーク(販促ツール、紙媒体、WEBサイト、広告などの企画制作)、雇用創出のための研修 他。

<団体概要>

■名称 NPO法人チルドリン徳島

■理事長 泉 理加

■設立 2014年7月

■活動

平成25年10月 子育て中の母親と支援者が集まり、活動を開始

平成25年11月 ママまつりin徳島の実行委員会発足

平成26年 3月 ママまつりin徳島ママ 開催

平成26年 7月 特定非営利活動法人チルドリン徳島 法人化

平成26年10月 ICTママ育成スタート

平成27年 2月 徳島県より「NPO新人賞」受賞

平成27年11月 **テレワーク実証センター運営管理** テレワーク推進事業に関わる
(徳島県より受託～現在に至る)

平成27年11月 ICTママ養成事業スタート(徳島県より受託～令和2年度より柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業に統合)

平成29年 にし阿波・女性のための新しい働き方普及促進事業
(徳島県西部総合県民局事業)

平成29年 5月 あなんテレワーク推進センター開設(阿南市より受託～平成30年度)

令和2年 4月 **柔軟な働き方「テレワークするんじょ！」事業** 徳島県から受託

テレワーク推進支援

・雇用型テレワークの推進

モデル企業創出事業
テレワークの導入支援
テレワークに関する情報提供
無料出張セミナーの実施
テレワークに関する相談対応、専門家への橋渡し

・自営型テレワークの推進

とくしまテレワーク講座の開講

・テレワークセンター徳島の運営

テレワークの普及・啓発、情報発信
テレワーカーの支援
企業の働き方改革やテレワークに関する相談対応
コワーキングスペースの提供



テレワークセンター徳島

角 香里 (すみ かおり)

香川県坂出市出身

わたしのWork

<テレワーク以前 (独身~結婚・出産)>

大学から福岡。経営コンサルタント会社に入社。事務-企画-営業-事務局-講師-経営支援等を経験。転勤で本社へ。Life<Work ワーカホリック。15年目に退職・結婚、徳島へ。



<テレワーク導入後>

最初はチームで仕事をする在宅ワーク。子の入園を機に週4日短時間&テレワーク勤務に。出勤する場合の通勤時間は80分。

仕事場所を選べることで、帰宅する子どもを迎えたり、義父宅の家事や通院付き添いの時間が作れている。ケガで松葉杖生活になった時や子どもの入院で泊り込んだ時も業務が滞らずに済んだ。また、リーダーとしての仕事がしやすい。⇒たくさんの企業に勧めたい!!

わたしのLife

家族は夫と息子7歳、近所に義父。Wケア世代。息子の幼稚園~小学校のPTA活動や習い事、地域活動にも積極的に参加。趣味はフィットネス、テニス。生きがいは子どもの成長。



令和元年度
テレワーク推進企業等
厚生労働大臣表彰
(輝くテレワーク賞)
個人賞受賞



自営型テレワークから雇用型テレワーク、そしてテレワーク推進側へ

①自営型テレワーカーとして H26年

NPO法人チルドリン徳島が募集していたICTママ1期生に応募。養成講座を経て在宅ワーカーへ。2歳の息子の子育てをしながら、データ登録や取材などを自分のペースで業務受託して行った。



②雇用型テレワーカーとして H28年

徳島県のテレワーク推進拠点であるテレワークセンター徳島でスタッフとして勤務開始。



③テレワーク推進側へ

県内の企業や一般個人に課題解決策としてテレワークの提案&導入までの相談窓口を担当。徳島県最初のテレワーク推進アドバイザーとして、企業や自治体への訪問やセミナーの開催、個別相談などを行っている。(一社)日本テレワーク協会やパーソルプロセス&テクノロジー(株)から最新情報や導入支援スキルを学び、地方の中小企業や就業者にあう形での情報発信・導入支援に努めている。メディアへの露出を増やし、徳島県における雇用型テレワーク推進の最前線で活動している。



Ⅰ.テレワークとの出会い から推進側になるまで

1-1. 私がテレワークを選んだワケ

▶ 当時の状況

41歳・子ども1歳、夫は多忙・義父は要介護、近くに頼れる先ナシ

▶ 再就職の理想

やりがいを感じる仕事、経験があって**できる**仕事、即戦力で**貢献したい**

▶ 就活の現実

希望の仕事ができる職場は遠方、出張が多い、責任や負担が大きい。

内勤事務の求人でも土日祝日勤務や夕方就労の条件などもある。



暮らしと仕事をフィットさせられない

自分らしく働きたい想いを家族に理解してもらえない

後悔、反発心、不安、意欲低下に🌀

1-2. 自営型テレワークを経験

▶ 「ICTママ」とは

子育てや介護や家業などで働きに出られない女性たちがICTスキルを習得、チームを組み、自営型テレワークやクラウドソーシングを行う仕組み。(H26～チルドリン徳島、H27～徳島県事業で実施中)

▶ やってみて気づいたメリット

自分で業務内容や仕事量・働く時間を**決められる!**

新たなスキル習得・**貢献できている**実感がある!

がんばったことに**報酬**や**評価**が**受けられる!**

年齢や性別が関係ない 主婦の**経験**を**強みに**できる



1-3. 新たな選択肢として教えてあげたい！



家庭を優先しながらも、キャリアを中断したくない人

遠方の職場まで通勤せざるを得ない地域の人

ブランクが気になって就職する自信がない人

やりたい仕事に求人がなく悩んでいるデジタルネイティブ

自分のスキルや時間を複業や奉仕で世の中に役立てたい人



人手が足りないとお悩みなら...
⇒外に働き手はあるよ！
「業務のアウトソース」

社員に働き続けてほしい、人が集まる会社になりたいなら...
⇒テレワーク可にすれば？

II.テレワークコーディネーター & 実践者としての推進活動

とあるわたしの1週間

月曜日

★オフィス勤務

5:30 起床、家事
7:00 夫出勤、息子登校の見送り
8:00 テレワーク
(メール確認、会議準備)
9:10 出勤
10:00 勤務

14:00 退社、買い物
15:30 息子帰宅、宿題や学校の話をする
16:00 習い事の付添い
17:00 急ぎの要件チェック
18:00 家事
19:00 夕食片付け

22:00 就寝



火曜日

★在宅勤務

6:30 起床
7:00 夫出勤、息子登校の見送り
8:00 家事

9:30 テレワーク

15:00 終了、休憩
15:30 息子帰宅、宿題や学校の話をする
16:00 習い事の付添い

17:00 急ぎの要件チェック
18:00 家事
19:00 夕食片付け
22:00 就寝



水曜日

★休日

6:30 起床
7:00 夫出勤、息子登校の見送り
8:00 家事
9:00 義父宅で世話
(病院の送迎、掃除、話し相手)
13:00 自由時間 (友人とランチ、エステ等)

15:30 息子帰宅、宿題や学校の話をする
16:00 PTA広報部の作業
18:00 家事
19:00 夫に息子預けてスポーツジム

21:00 帰宅
22:00 就寝

木曜日

★モバイルワーク

5:30 起床、家事
7:00 夫出勤、息子登校の見送り
8:00 テレワーク
(メール確認、訪問準備)
9:00 出勤
9:30 企業訪問1
11:00 企業訪問2
13:00 モバイルワーク
14:30 終了、
15:30 息子帰宅、

16:00 ケアマネジャーの定期面談

17:00 急ぎの要件チェック
18:00 家事
19:00 夕食片付け
22:00 就寝



金曜日

★在宅勤務

6:30 起床
7:00 夫出勤、息子登校の見送り
8:00 家事

9:30 テレワーク

15:00 終了、休憩
15:30 息子帰宅
宿題や学校の話をする
16:00 習い事の付添い
17:00 急ぎの要件チェック
18:00 家事
19:00 夕食片付け
22:00 就寝



土・日曜日

★休日

- ・息子のテニスや家族でのお出かけ
- ・隣県の病院にいる母のお見舞い、実家への顔だし
- ・自己啓発

2-1. 県内をまわり聞いてくれる人を探す

平成28年度の挑戦(1年目)



働き方 ワークショップ 10:00~12:00

~子どもがいるなかで働く、ということ。~
子育て世代を対象に、自分らしい働き方について意見交換・交流します。お子様と一緒にご参加ください。



テレワーク相談会 13:00~15:00

一般(個人、企業・団体)対象の
「テレワーク個別相談」

テレワーク(ICTを活用した場所や時間にとわれない柔軟な働き方)の導入やテレワーカーへのアウトソーシング、また、テレワーカーとしての働き方のご相談を承ります。



今後の
「テレワークキャラバン開催予定」

平成28年	
5月 終了	(水) 鳴門市:鳴門市婦人会館
6月 終了	(水) 徳島市:親子カフェはこいろ
7月19日	(火) 三好市:三好市保健センター
9月14日	(水) 阿波市:アエルワ
10月12日	(水) 美波町:日和佐公民館
11月16日	(水) 板野郡:北島町保健相談センター
平成29年	
2月15日	(水) 美馬市:美馬福祉センター

▶ 認知度ほぼゼロ。

各市町村への説明から苦戦

▶ 第一部は個人(子育て期の女性)対象
働き方について語り合うワークショップ

⇒当日よりも事後広報の反響大きかった

▶ 第二部は企業団体対象

テレワーク、アウトソース個別相談会

⇒ほとんどの会場で参加なし

2-2. 1社ずつ電話→訪問してヒアリング

平成29年度の挑戦(2年目)

▶ 地道に1社ずつアプローチ

会って話す機会をもらえさえすれば
どの会社にも働き方の課題はあり、
テレワークに関心を持ってもらえた。

経営者層対象
ミニ勉強会・体験会

テーマ「働き方改革と
テレワークの可能性」



若手社員対象
働き方ワークショップ

テーマ「生き方と働き
方を考えよう」



社内でワークスタイル変革を考えてみませんか？

働き方キャラバン

Caravan of work style 無料出張セミナー-実施中!

深遠し始めた「働き方改革」という言葉の一方で、働き方を変えるための具体的な内容や手法についての情報は多くありません。そこで、テレワークコーディネーター*が出張セミナーを行います。トップマネジメント層の勉強会や社員の意識アップの機会にご利用ください。

*テレワークコーディネーターとは、「テレワーク導入・推進」を支援する専門職です。企業にテレワーク導入のノウハウを伝える役割を担っています。

pattern.1 経営者・マネージャー	pattern.2 社員向け	pattern.3 経営者・役員向け
<p>働き方ミニ勉強会</p> <p>遠慮する経営課題の解決に向け、テレワークがどのように役立つかを理解し検討したい。そんな企業様には「働き方ミニ勉強会」をご提案します。</p> <p>【テーマ例】 ●働き方改革とテレワークの関係と先進企業にある導入メリット ●テレワークのはじめかた～導入ステップと注意点～ ●「体験型」お試しテレワークから始めよう！</p> <p>【所要時間】1時間30分</p>	<p>ワークショップ</p> <p>将来に向けて何を改善していければいいか。まずは社員の意見を聞いてみたい。そんな企業様には「働き方ワークショップ」をご提案します。</p> <p>【テーマ例】 ●若手社員向け「働き方と働き方を考えよう～ライフ・ワークのバランス～」 ●中堅社員向け「業務や部下育成に活かすICTコミュニティマーケティング」 ●社長・役員向け「仕事と家庭と会社のバランス～制度の見直し～」</p> <p>【所要時間】2時間</p>	<p>テレワーク導入個別相談</p> <p>「在宅での勤務を希望する社員がいる」「業務に支障が出ないか試行してみたい」そんな企業様には「個別相談」をご提案します。</p> <p>テレワーク導入の推進メンバーに、全体方針の決定、評価ルールづくり、IT環境づくり、セキュリティ対策などにおけるポイントをお話しします。また、テレワークのためのカーブレスなシステム構築やツール選定等のご相談にも対応します。</p> <p>個人別相談</p> <p>「テレワーク導入の推進メンバー」の役割を担っています。</p>

2-3. 相談が寄せられることを目指して

平成30年度の挑戦(3年目)

▶ 個別相談してくれる人は増えたけど

先進的に制度や環境をつくった企業でも浸透しないとか、担当者が社内で提案しても「今やる必要を感じない」と反対されてしまうとか... **【職住近接】の壁。**

▶ 必要としている人にリーチするために

企業の意識動向アンケート調査

普及啓発イベントや企業向けセミナーの企画、ホームページ、SNS、ニュースレターの改良

外部イベントへの出展

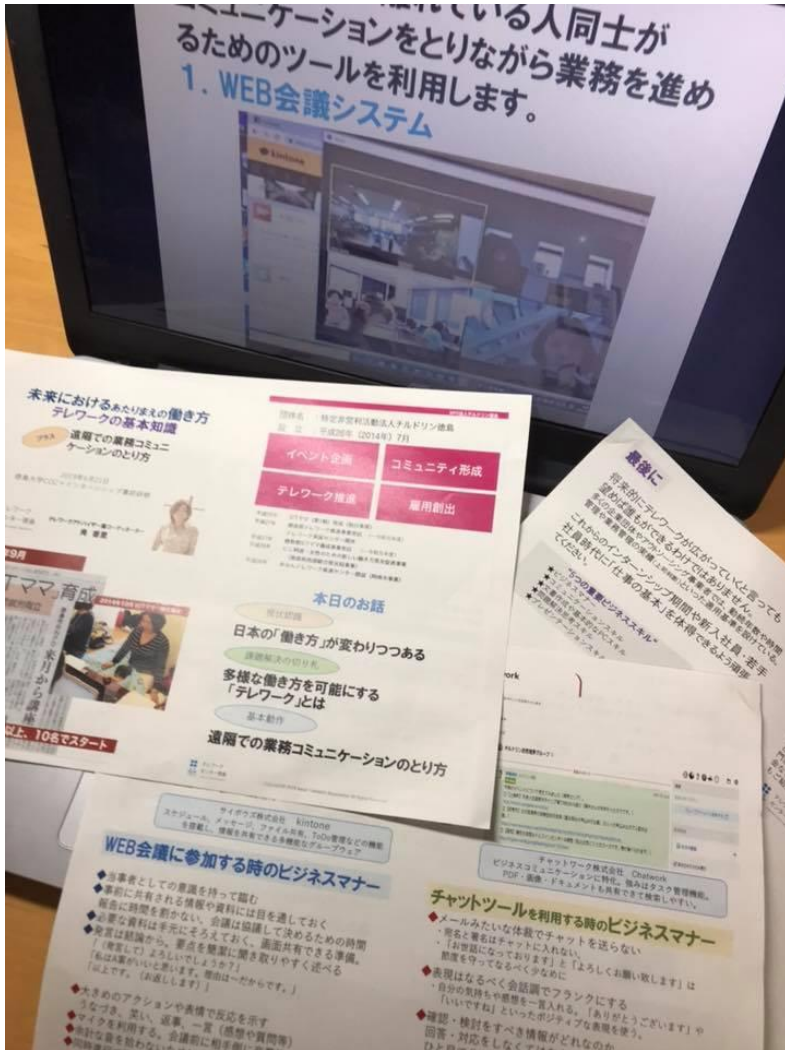
県から市町村・経済団体等へのプッシュ依頼

「テレワークアドバイスカフェ」の定期開催

(ツール紹介・体験、参考資料・導入事例の紹介ほか)



2-4. 雇用型テレワークを伝える相手が広がった 令和元年度の挑戦(4年目)



←徳島大学インターンシップ事前研修にて
↓徳島文理大学生がつくるラジオ番組にて
→ショッピングモールで行った、子育て世代向け
ラジオ公開録音



▶ 近い未来における“当たり前働き方”として、
就活に臨む大学生や、転職を目指す社会人、
職場復帰を控えているママなどからも注目！



2019年頃は、正直これ以上
「テレワーク」は地方の中小
企業には普及しないんじゃないかとあきらめかけたり、
やっと相談されてもIT導入
による業務改善や、働き方改
革の詳しいところの質問には
知識不足で答えられず限界を
感じたり、悩んだ時期でもあ
ります...

ところが、2020年、誰もが想像していなかったコロナ禍において「テレワーク」が推奨され、急に潮目が変わった。力不足を自認しつつも、これまでに得た知識や四苦八苦しながら積み重ねてきた経験をうまく活かせば、感染拡大を防ぎつつ事業を継続させたい企業や働く人々の役に立ちたいという“やりがい”



2-5. 今までのやり方では間に合わない

令和2年度の挑戦(5年目)

テレワークについて知りたい、**導入したい**、いま以上に活用したい...企業が**増加**



質問・相談される内容が**多様化、複雑化**、早急



テレワークアドバイザーに
コンサルティングノウハウがない

一方で

テレワークという働き方があることは知っているが、徳島には／中小企業には／自社には**そぐわない**気がする、活かせるイメージが持てない、**不公平感になる**のが心配...という企業も多い



誤解をなくしていきたいが届かない

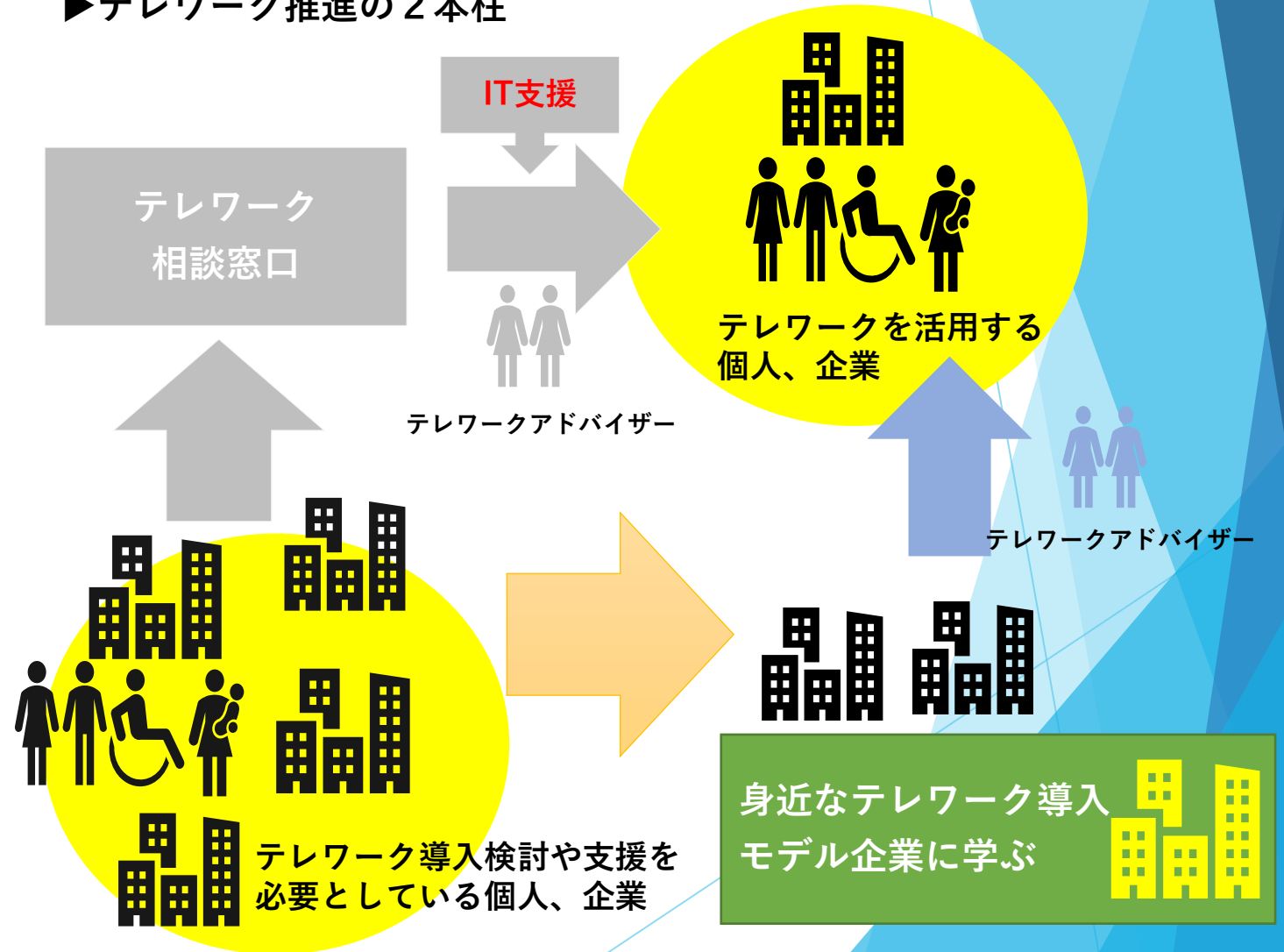
2-6. 現在取り組んでいる二通りの推進

企業や人々の抱える課題が多様化・複雑化する中で、企業のテレワーク導入を強力に支援するため、
①特に、環境づくりにおけるIT支援を『**テレワーク応援隊企業**』との連携で実行する（図左側）

②共感できる身近な事例から具体的に課題解決のプロセス等を学べるよう、モデル企業を創出する。
（図右側）実施は**難しいと思われ**がちな業種や職種への導入・定着を、アドバイザー型コンサルティングで支援する。**随時公開**し、他社や個人の意欲向上を促す。

③**コンサルティングスキルの習得**。

▶テレワーク推進の2本柱



III.これからについて

3-1. 誰もが自分らしい働き方を選べるように

これからも続く挑戦

【私のねがい】



- 働きたい人が仕事に就けるカタチを広めたい！
- 企業に“いま風”の柔軟さを取り入れて発展してほしい！
- 子どもたちが将来も地元を愛し暮らせるような豊かさを！



【輝くテレワーク賞に恥じぬよう】

私自身がロールモデルになる！



チルドリン徳島の仲間と共に
もっと自由に
自分らしい働き方
を伝え続けていきます！！



テレワークセンター徳島は
そんなあなたのための場所なんじょ☆